

「会員の高齢化、会員数の減少に対する対策」

この課題は、「新規会員の獲得策」と言い換えられ、検討分担の6項と重複しますが、下記提案します。獲得策としては今までのように地域での勧誘活動と会員の口コミによる方法で良いと思います。もちろん島村さんからの提案のように媒体を使った広報活動もできれば良いと思いますが、コスト的には難しいように思います。

基本となる地域での勧誘活動と会員の口コミをサポートする施策として、次の2つを提案します。

- ・ 新規入会者の入会初年度の会費は無料にする。
- ・ 会員の紹介による入会者が次年度以降継続入会した場合は、紹介者のその年会費は半額にする。2名以上紹介した場合はその年度は免除する。
- ・ この施策を2021年度から5年間継続する。

（試算前提：新規入会者20名（地域の勧誘活動10名、会員口コミ10名 70%が次年度も継続）

- ・ 初年度の入会金免除 3,000円（平均在籍6か月）x20名=60,000円
- ・ 紹介者の次年度の会費割引分 3,000円 x7名=21,000円 年間81,000円

* 本部の通常予算から50%、30周年予算から50%拠出 5年間で総額405,000円

「本部の役割、地域じゃおとの関係」

過去30年間の「じゃおクラブ」の創立からの流れを考えると、じゃお本部というのは存在した方がよいと考えます。その役割としては、

- ・ 方針の提案と決定（総会）、対外窓口、広報活動（HP）
- ・ 地域じゃお間の緩やかな統合の象徴および調整機能
- ・ 事務局機能（会員管理・会費徴収・会計・業務監査）
- ・ 会員横断的なイベントやコミュニケーション（HP、サロン、ニュース）

この中で、じゃおサロン、じゃおニュースについては、HPサークル同様に担当運営委員の元でタスクチームを組織して実施すればよいのではないかと思います。開催頻度、発行頻度等はタスクチームで考えれば良いと思います。また、広く会員に協力を求めていけば良いと思います。当面は担当者を1名各地域じゃおから選出いただくか、公募するか？

なお、じゃおの会合は、極力オンラインで開催する方向に方針変更をお願いしたい。

オルタ館4階のじゃお本部事務所は、対外的窓口として今後も必要であると考えます。最近、オルタ館での行事が少なくなっているため、訪問の頻度が極端に減っており、郵便物の停滞や家主との連絡ミスなどがありました。

今後、定期的な訪問チェックが必要です。（運営委員の輪番制か、担当委員（複数）を決める。）